

SXSW EDU 2023の概要

開催概要

- 日程：2023年3月6日（月）～9日（木）
- 会場：オースティンコンベンションセンター及びヒルトンオースティン（米国テキサス州）
- 形式：本イベントでは、複数会場において同時多発的に複数のセッション等が開催される。開催形式は細かくは下記に分類される。
 - **セッション**：講演/パネルディスカッション形式で、1人/複数の登壇者により教育方法や教育業界における問題等に関する説明や問題提起等がなされる。各日のメインとなる大規模なセッションはKeynoteと呼ばれ、著名人が登壇する他、手話による同時通訳とリアルタイム字幕が整備されている。セッションでは、専用アプリからのリアルタイムでの質問が可能である。
 - **ワークショップ**：登壇者による説明がなされたのち、グループディスカッションやグループワークの時間が設けられ、参加者の主体的な参加を求められる。
 - **ネットワーキングイベント/ミートアップ**：特定のテーマに関心のある参加者が会場に集められ、一定のファシリテーションの下、自由に会話する。
 - **コンペティション**：一般及び学生スタートアップのピッチコンテストが開催され、投資家による審査が行われる。審査発表は当日中に行われる。
 - **展示**：事業者や大学による研究、商品やサービスの紹介がブース形式で行われる。担当者が常駐し、オリジナルグッズや体験による誘客がみられた。
 - **メンタリング**：教育関係の専門家（高等教育・ビジネス・SEL等）と個別にディスカッションをしたり助言を得ることができる。各12分スロットで、事前に希望するメンターに対して公式アプリを通じて予約をする必要がある。
 - **フィルム**：大規模会場のスクリーンで1時間程度の上映がなされる。英語字幕が付く。
 - **パフォーマンス**：音楽や演劇などの上演がなされる。メッセージ性の強いものが多い。



会場の様子
（オースティンコンベンションセンターの外観とロビー）

#4_HelloWorld株式会社

【#4_HelloWorld株式会社】

#		09		10		11		12		13		14		15		16		17		18		19		20	
DAY1 (Mon)				Keynote: Teaching America			Disru ptive Innov ation	Meet and Greet		Trading Places: from Private Sector TO Public Ed			Achie ve Inves tor- Foun der Fit												
DAY2 (Tue)				DESIGN- BASED LEARNING UNWRAPPE D: Build Our Future			Launch Startup Competition			EdTech Power Skills & the Future of Work			The EdTech Product Diaries			Global Connections Meet Up				Launch Competition Spotlight					
DAY3 (Wed)				Keynote: Ruth Simmons			現地大学生との面談						Why Investing in EdTech Evidence Matters				Developing Unicorn People		The Pillars of Transformin g Education	Japan Meetup					
																EXPO									
DAY4 (Thu)						Cent ring Stude nt voice	Are you Series A ready? All about fundraising!			Keynote: Safer Schools		SXSW EDU Closing Party							事務局と振り返り						

【#4_HelloWorld株式会社】

■ 事業者情報

事業者名	HelloWorld株式会社		
事業者HP	https://inc.hello-world.city/		
所在地	沖縄県沖縄市		
設立／社員数／ 教育事業の段階	2020年設立	社員数 25名	教育事業段階 アーリー
事業概要	HelloWorld株式会社は、「世界中に1か国ずつ友達がいることが当たり前の社会を作る」をミッションとしている。 国内在住外国人の自宅にホームステイをする「まちなか留学」と、学校向けオンライン国際交流ツール「WorldClassroom」を提供。異文化体験・国際交流の裾野を広げることに努めている。 まちなか留学により、経済的な理由などで留学を断念していた生徒へ留学の機会を提供し、WorldClassroomによって、生きた英語を使う機会を学校に提供している。		

■ 参加者情報

参加者名	今野 達眞（Konno Tatsuma）
役職・部署	WorldClassroom事業部・COO

【#4_HelloWorld株式会社】

■ 参加目的

SXSW EDU2023
で達成したいこと

- ・ 弊社サービス「WorldClassroom」の海外展開可能性を、世界の教育関係者が集まる場で検証したい。
- ・ EdTech領域を含めたイノベーションの先進国である米国で、トレンドを捉え、今後の事業展開に取り入れていきたい。

SXSW EDUへの
具体的な参加目的

WorldClassroom は、スピーキング練習機能だけでなく、異文化交流・国際交流プラットフォームの機能を有する英語学習EdTechツールである。そしてこの文化交流学習という点は、平均して日本よりも英語が話せる国でもニーズがあると考えている。

可能ならば、SXSW EDU2023 において、様々な国の有識者から意見を聞き、以上のニーズについての仮説を検証したい。

また、英語圏におけるニーズ調査を行いたい。弊社は、米国を主とする英語圏に対しても、授業内での文化交流学習の価値を訴求できると考えている。実際に昨年度、本年度と WorldClassroom を用いた国際交流を実施する中で、英語圏の提携校からもニーズがあることをヒアリングしているが、英語圏である米国現地にて調査や有識者へのヒアリングを行いたい。

また海外展開を目指す上で協業可能性のあるイノベーターやサポーターとの、ネットワーキングも行いたい。

■ 目的達成のための準備事項

参加に向けた準備事項

- ・ プレゼンテーションの準備・練習（1分版、3分版）
- ・ デモンストレーションの準備（1分版、3分版）
- ・ 現地で会いたいイノベーターやサポーターとのアポイント設定
- ・ 想定問答100問作成

【#4_HelloWorld株式会社】

■ 概要①

SXSW EDU2023の感想

簡潔に言うと、「立場や属性にかかわらず、熱意を持って教育の未来を考える人が集結するイベント」。管理職を含めた学校の先生、教育委員会の先生、教育事業者、チューター、学生、それぞれが独自の視点で教育の現状について意見を語り、新たな視点や仲間を求めてミートアップやトークセッションに参加していた。みんなが協力してより良い教育を作り上げることを目指していたように感じる。

トークセッションには、多様性教育やSTEAM教育などを注目トピックとして捉えたセッションも多かった印象。ワークショップには、Design-based learningなどの現在の教育トレンドを押さえた教育実践だけでなく、適切に事業ピッチを行うための指南がもらえる教育事業者向けのコンテンツもある。セッションやワークショップに関しては、参加することで大きな学びもあるが、ネットワーキングでインプット・アウトプットを得るためには、積極的に話しかけたり、事業紹介などをする必要があった。



初日のKeynote Sessionの様子。
初日の10時だったにもかかわらずほぼ満席。SXSW EDUのオープニングとして非常に盛り上がっていた。



Expoの様子。
さまざまな事業者が出展しており、独自のソリューションを展示していた。中にはARなどを体験できるブースも。



Talk Sessionの様子。
Soloや2～4名のパネルディスカッション型など、さまざまな形のSessionが用意されている。
質疑応答ができるSessionもある。



Launchの様子。
Educationに特化したピッチを観覧できた。日本からの登壇者もファイナリストに残っており、非常に刺激になった。

【#4_HelloWorld株式会社】

■ 概要②

参加目的の達成度

自社のEdTechツール「WorldClassroom」の海外展開を検討するうえで、国外での市場でのニーズを調査することを参加目的の一つにしていた。その点についての仮説では、自社のツールは、文化交流学習として、日本以外の英語が話せる国でも需要があると考えていた。

まず仮説検証の達成度としては、多くの国の教育機関決裁者へのヒアリングを実現できなかったために、完全に達成したとは言い難い。しかし、派生した仮説の検証として、英語圏におけるニーズ調査に関しては、調査の第一歩が生み出した。テキサス州の一部の校区を管理する教育機関で務める教育担当者にヒアリングをしたところ、米国であっても国際交流のニーズはあるだろうとの言葉をいただいた。米国内でもとりわけ言語学習や異文化理解多様性学習に力を入れている学校は、米国でのプロダクトテストをする対象として適しているのではないか、との提案もいただくことができた。協業可能性のある組織とのネットワーキングとしては、日本の学校へも広くプロダクトを導入している北欧初のEdTechスタートアップの役員や、世界各地の学校とのコネクションを持っているNPOの担当者などにピッチをして、連絡先が交換できた。

現地での発見
他イノベーターに向けて

- 参加者は教育事業者だけでなく、学校の先生も多かった印象。
- ピッチをしても自分の事業がなかなか相手に伝わらないこともあるが、焦らずにステップを踏んで説明することが大切だと感じた。さらにデモなどをすぐに出せると、一気に相手の解像度が上がり、話が進むことも。
- 自分のことを話すのに精一杯になりがちだが、ミートアップなどでは相手についてしっかり質問することの方が会話のうえでは重要だと感じた。
- Mentoring Sessionはだいぶ前からの予約が必須。Workshopは基本的に予約制度がないために、人気のものは行列ができて、人数制限で入れないこともある。ミートアップは関心と合致するものがあれば、参加するのがおすすめ。
- Keynote Sessionすべてに参加すると、その年のSXSW EDUが大切にしていることがわかる気がする。今回だとDiversity。

事前準備について

- 米国でのプロダクト展開を検討していないとしても、米国の最新教育事情をある程度把握しておくことを推奨。セッションやワークショップで、最近制定された教育に関する法律を前提として話が進むことがあるので、話を理解して自分の事例に置き換えて落とし込むためにも必要かと思う。
- LinkedInは必須。プロフィール埋めて、いくつかポスト、リポストしておく。そしてSXSW EDUの投稿をいいねやリポストしている人を確認して、自身の事業領域に近い人がいれば、メッセージ付きでつながり申請をしておく。

海外教育イベントへの参加支援 | 報告レポート | ③参加後レポート_詳細_DAY1

【#4_HelloWorld株式会社】

■ Keynote: Teaching America: How We Fail Our Newcomers, Why It Matters, & How We Can Do Better

セッション等概要

10:00-11:00

@Ballroom D, ACC

SXSW EDUのオープニングKeynoteセッション。アメリカに難民として移住した教育者の話。アメリカという土地、そしてアメリカの教育制度がどのように難民にとってどのようなものだったか、そしてそれをどのように変えるよう決意したかを語る。

感想、得たもの等

国を離れなくてはならず、アメリカに移った難民がどのような教育を受けてきたか、そしてそれをアイデンティティとして、教育を変える決意をした経緯を学んだ。既存の教育システムが万人にとって最適解でないこと、常に改善の余地があり、考え続けることが重要だと感じた。教育事業者として社会的少数派に価値提供をすることの大切さを感じた。



■ Disruptive Innovation: Community Designed EdTech

セッション等概要

11:30-12:00

@Salon J, Hilton

African-Americanといったコミュニティを対象とした学習プラットフォームの成長過程についてのSoloトーク。サービスを提供していく中で、利用者に効果をもたらしていた過程を解説していた。

感想、得たもの等

コミュニティに受け入れられながら、事業のパートナーを増やしていく過程が非常に参考になった。ビジネス性に加えて社会への貢献を目指す自社にとって、しっかりと提供価値を明確化して、仲間を増やしていくのは、積極的に事業に落とし込んでいく必要があると感じた。



■ Achieve Investor-Founder Fit in Early-Stage EdTech

セッション等概要

14:30-15:00@Salon J, Hilton

アーリーステージのEdTech事業者にとって最適な資金調達や投資家との関係についてのセッション。実際にTech事業者に焦点を当てたVCを設立した登壇者が出資を受ける際に気を付けるべきポイントなどを解説していた。

感想、得たもの等

印象的だったのは、投資家を選ぶ際に妥協してはいけない、というアドバイスがあったこと。EdTech領域特に公教育からの社会実装を目指すスタートアップは調達の機会は限られている場合もある。しかし機会が限られていても、長い付き合いになるからこそ、投資家の自社事業に対する理解や親和性を求める水準は常に高く設定すべきと話していた。



海外教育イベントへの参加支援 | 報告レポート | ③参加後レポート_詳細_DAY2

【#4_HelloWorld株式会社】

■ Launch Startup Competition

セッション等概要

11:30-12:30

@Exhibit Hall4, ACC

教育に特化したスタートアップによるピッチコンテスト。直接授業改善にアプローチするプロダクトから、学習環境や教員の採用状況を改善しようとするプロダクトなど、さまざまな角度からのソリューションが提案されていた。

感想、得たもの等

自社と近い言語に対するソリューションを開発している、日本からのスタートアップがファイナリストに名を連ねていたのが非常に刺激になった。その後のミートアップでもそのプロダクトに関心を示す人が多く、日本のEdTechスタートアップも海外で価値提供が可能なのだと肌で感じられた。



■ The EdTech Product Diaries: 3 Real-Life Stories

セッション等概要

14:30-15:30

@Room18CD, ACC

実際にEdTech領域で起業をしたパネリストによるトークセッション。起業までの経緯や起業後の成功施策や苦悩、それに対して取った解決策などを聞くことができた。

感想、得たもの等

パネリストそれぞれが、教師としての経験、親としての経験などからプロダクト開発に踏み切った話は非常に興味深かった。Co-Founderの重要性といった部分はかなり具体的だった。一方、パネリストの事業フェーズが自社とはマッチせず、直接的に落とし込めるアドバイスは多くなかった。



■ Global Connections Meet Up

セッション等概要

16:00-17:00

@Room406, Hiton

世界最大規模でK-12へのオンライン学習ネットワークを提供している非営利団体「iEARN」のアメリカ支部が主催するネットワーキングイベント。さまざまな形でグローバルコラボレーションを目指す参加者が集まっていた。

感想、得たもの等

他のミートアップと比較して、アメリカ国外からの参加者が多く集まっていた。参加者それぞれの視点から自社プロダクトに対するフィードバックを得られ、海外展開する際の自社プロダクトの適応必要性などがわかった。またiEARNのメンバーと名刺交換ができたことも大きな成果だった。



【#4_HelloWorld株式会社】

■ Why Investing in EdTech Evidence Matters

セッション等概要

14:00-15:30

@Room8ABD, ACC

EdTechプロダクトにとってのEvidenceの重要性について語るパネルディスカッション。リサーチャー、教育委員会などそれぞれの立場から、データをプロダクトの説得力につなげるための施策を具体的に解説する。

感想、得たもの等

Evidenceは、導入先が学習効果を判断するために欠かせないということが理由。特に決裁者には、「生徒の変化を明確に見せられること」がアピールになる。また先生に対しては、「Quick, efficient, easy」なプロダクトであることを見せる必要がある。



■ Developing Unicorn People

セッション等概要

16:30-17:00

@Room J, Hilton

世界に衝撃を与えるようなイノベーションを生み出すような「Unicorn人材」を輩出するためのトレーニングに関するセッション。専門トレーニングを提供するTKSという組織のメソッドを解説していた。

感想、得たもの等

直接自社事業に関係するところではないが関心があったため参加。イノベーションを起こすような人材の育成には、教育者も視点を変えないといけないと学んだ。EdTechスタートアップとして、固定された教育システムに疑問を呈することで、少しでもそのような人材育成に役立てると感じた。



■ The Pillars of Transforming Education

セッション等概要

17:30-18:30

@Salon A, Hilton

Why Investing in EdTech Evidence Mattersに登壇していたパネリストによるトークセッション。こちらもEdTechにとってEvidenceがどのような役割を果たすかを解説していた。

感想、得たもの等

前のセッション終わりでは話すことができなかったが、登壇者のSunil Gunderiaと話すためにセッションに参加。彼はEdTechプロダクトに関するリサーチを行っており、将来的なアドバイスを取得するためにもコネクションを取得したかった。質問をして、LinkedInで繋がることができた。



海外教育イベントへの参加支援 | 報告レポート | ③参加後レポート_詳細_DAY4

【#4_HelloWorld株式会社】

■ Centering Student Voice in Education

セッション等概要

11:00-11:30
@Room15, ACC

あまり著名ではない学校から名門ハーバードへ進学した学生のセッション。生徒の声をしっかりと教育者側に届けて、教育システムを変革してその活動と重要性を語るセッション。

感想、得たもの等

自分の勉強不足で知識がないだけかもしれないが、非常に米国的なセッションだったと感じる。「自分が受ける教育は自分で変えていく。むしろ作っていく。」という姿勢に教育事業者として感銘を受けた。自社プロダクトが教育改善のためにできる価値提供について考えさせられた。



■ Are You Series A Ready? All About Fundraising!

セッション等概要

11:30-12:30
@Room10AB, Austin
Convention Center

EdTechスタートアップを起業し資金調達をしたFounderと実際に出資しているVCとのセッション。Series Aが何かということから、具体的に資金調達を実施するにあたって必要なステップや注意点をディスカッションしていた。

感想、得たもの等

セッション後に登壇者4人全員に質問ができ、LinkedInで繋がれたのが大きかった。この方々を通して資金調達だけでなく、他のリソース提供などをお願いしていきたい。トークセッションの内容は具体的で参考になったが、日本で過去に聞いた内容もあり、その重要性を再認識した。



■ Students, Educators, & Mental Health One Year After Uvalde

セッション等概要

13:00-14:00
@Exhibit Hall4, ACC

SXSW EDU最後のKeynoteセッション。学校での銃撃事件という米国ならではの問題についてのセッション。遺族が登壇し、その悲痛な過去を抱えつつ、学校の環境改革や銃規制についてディスカッションをする。

感想、得たもの等

銃の問題は米国ならではのといえるが、メンタルヘルスや学校環境の問題に落とし込むと、日本でも考えないといけないように感じる。今回のピッチ優勝者などを見てもメンタルヘルスは、教育においてこれから重要な領域になるように感じた。

